

研究計画書

| | | | |
|--------|---|------|------|
| ゼミ名 | 奥田ゼミⅡ | チーム名 | すいさく |
| タイトル | 日本の農業の未来 | | |
| テーマ群 | e) 産業・企業 | | |
| メンバー | 住田知弘、猪口雄策、坂根亘、蔵本貴寛 | | |
| 研究計画内容 | <p>【研究の内容】</p> <p>現在、TPP の議論において、多くの関心を集めているのが農業に関する議題です。そして現在の日本農業は、多くの問題を抱えています。</p> <p>この研究では、まず始めに、農家の減少、作物の需要の減少、外国産農作物との価格競争など、日本の農業が今後取り組むべき課題について説明していきます。</p> <p>次に、減少していく個人農家に代わって農業界に参入する企業への期待や、参入した企業の実態、企業として運営していくための課題について考えます。</p> <p>第 3 に、新たな農作物の生産技術である植物工場の紹介をします。植物工場で作物を生産する利点や課題について見ていきます。</p> <p>そして第 4 に、TPP と農業について考察します。TPP の交渉に参加すべきか否かは、農業の問題だけに絞ってみても、賛成派と反対派の間に大きな溝を作っています。ここでは、TPP 参加によって日本農業はどのような影響を受けるのかについて考えます。</p> <p>最後に、農業によって地域を活性化しようとする動きについて見ていきます。人口の流出や高齢化などで衰退していく農村地域を、農業の 6 次産業化によって地域での雇用の創出や所得の向上を促そうとしている実例や、その取り組みが軌道に乗るために必要な条件を説明していきます。</p> <p>【研究の成果】</p> <p>TPP への加盟・交渉参加など一連の TPP 議論がきっかけとなり、未来の</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本農業の産業としての形態 ● 世界単位でみた日本の農業、及び農作物への関心 ● 農村地域 <p>に、どのような変化をもたらすのかを示したい。</p> | | |